

R

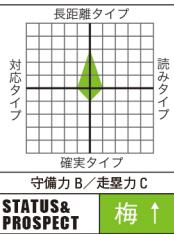
24 吉田 裕太23歳1年目／13・2位
日大三高→立正大

夏09 日大三高(東京)

捕手

右投右打
183cm94kg**精度抜群の強肩はプロでもトップ級**

★W／あり余るほどのパワーを野球技術に直結させたい大型捕手。日大三高、立正大の7年間のほとんどでレギュラー捕手として実戦経験を積みながら、打線でも中心打者を務めた。全身筋骨隆々の屈強な体躯。レガース、プロテクターがぴったり似合って、野武士のような出で立ち。スタイルは文句なし。★G／スローイング。ピンポン球を投げるよう、いつも簡単に低く伸びていく二塁送球。スローイングフォームと精度抜群の強肩はすでにプロでもトップ級だ。■育成ポイント／タイミングが合えば130m級の長打力だが、トップを取り切れないでの緩急の厳しい投手にはなかなかタイミングがつかめない。バッティングのほうは猛勉強が必要だ。



R

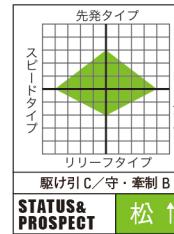
12 石川 歩26歳1年目／13・1位
滑川高→中部大→東京ガス

滑川高(富山)

投手

右投右打
186cm80kg**絶対の自信に満ちたマウンドさばき**

★W／ロッテのエースも夢じゃない大器。大学 당시に比べ性格も投球も一変、非常に厳しさを感じるメリハリの効いた投球で、社会人一線級の舞台でも本領を発揮し続けた昨季。長身から投げ下ろす145キロ前後の速球は指のかかりが抜群で、インパクト付近での回転数減少も少ない。曲がり始めてからスピードのある落差の大きなカーブは、プロでも十分勝負球に。学生当時から使っているシンカーも稀少価値だ。★G／絶対の自信に満ちたマウンドさばき。昨季1年の過ごし方と結果に確信が持てたのだろう。昨秋あたりは磐石という印象だった。★A／自身の能力に気がついた若者のパワーはすごいものがある。今が旬、今の勢いで、一気に台頭を。



R

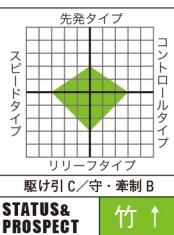
40 吉原 正平25歳1年目／13・4位
東筑紫学園高→東京農業大→日本生命

東筑紫学園高(福岡)

投手

右投右打
174cm75kg**武器は空振りを奪えるチェンジアップ**

★W／落ちる系の変化球を武器に1軍投手陣に斬り込む右腕。東筑紫学園高、東京農業大での実績はないが、社会人・日本生命での2年間はエース格として大舞台で活躍した。1年目の都市対抗では2試合連続完封で若獅子賞(新人賞)を獲得。昨季も140キロ後半の速球とスライダー、チェンジアップを駆使して、柿田(現DeNA)との二本柱で奮闘を重ねた。即戦力の期待を担ってプロ1年目を迎える。★G／空振りが奪えるチェンジアップ。速球と同じ腕の振りで叩けるようになって、「本物の緩急」になってきた。★A／角度のなさをカバーできる“ひと工夫”が投球フォームにほしい。いくら球感があつても、タイミングが合えばやられるのがプロ野球の世界なのだ。



R

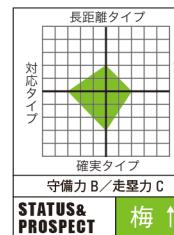
37 三木 亮23歳1年目／13・3位
遊学館高→上武大

遊学館高(石川)

内野手

右投右打
175cm78kg**機転の効いたプレーに高精度の守備力**

★W／若武者・鈴木大地の好敵手になれ！高精度の守備力を持つ遊撃手。昨年6月の大学選手権では走攻守にわたって安定したプレースタイルを発揮。特に打撃面でここ一番の場面に長打力と勝負度胸を見せつけ、チームの初全国制覇に貢献した。腰もグラブの位置も低いフィールディングは、ワンプレーが命取りになるプロでは貴重な存在になるはずだ。★G／機転の効いた臨機応変のプレー。雨の日の用の野球ができる、相手投手の球威イマイチなら豪快に引っ張り、手元でくる球質なら、おっつけて右翼手の頭を越す。★A／二遊間を守れる右打ちが見当たらぬチーム事情から、待望の人材と言えるだろう。足の故障を全快させて、最初から飛ばしたい。



東北楽ルデンイーグルス



千葉ロッテマリーンズ



バオフリックス・アローズ

